

(前号までの「夜回り通信」を「炊きだし通信」にタイトル変更します。)

炊きだし 6月13日(土) 曇り 12:00～五橋公園

ホームレス参加数67名。ここ何ヶ月も50人を割っていたので、予想数より増。用意した分量がギリギリで焦る。また初めてお目にかかる人が目に付いた。昨年来の社会状況の影響がじわじわと出てきているようすだった。(反省会での感想から)

相談コーナーのHさんの所へは相談者4人。最近多いのはやはり派遣切りにあって路上に出た方の相談。Hさんの萌友アパートに入りたいという申し出だった。ただこの日は「年金生活ホームレス」-3~4万円の年金を貰っていて路上での生活費には十分だが、アパート暮らしをするには足りないというホームレス。それが支給日が近づくという相談の方が3人いたそうである。誰かに取られそうなので、どうしたらよいか?というもの。路上にも様々な不安がつかまとう。生徒が車で怖い目にあったホームレスは、働かずに親の年金を食い物にしているという40代の男で、お腹の大きい「妻」を連れ歩いていた。

ボランティア参加者30名。本校からは生徒7名、卒業生1名、卒業生の親1名、教員1名、合計10名参加した。事前に指導はしていたものの気が利かないのは当然のこと。それでも正平協の方たち(主に北仙台と元寺のカトリック教会信者の皆さん)は生徒の参加意図を理解してくださりいつも親切熱心に対応して下さる。反省会で高校生への活動への感謝の言葉が話されるたびに冷や汗をかく。しかし確かに生徒たちはけっこう生き生きと現地の炊きだしでも働いていた。

生徒感想から～

- 前回よりも楽しくボランティア活動ができてよかったです。反省点はもっと気の利いた行動をしなけれならなかったことです。(2年 A)
- 3年生なってからは初めてのボランティアで久しぶりに炊きだしに参加しました。行くたびに来ているホームレスの人数が変わって多かったり少なかったり、世の中の状況が一番わかる場所だと思えます。3年生で進路とか大変だけど、炊きだしはできるだけ続けてゆこうと思えます。(3年 Yk)
- 私はボランティアに行くまで、ホームレスの方たちのイメージがもっと暗くて怖い人なのかと思っていました。でも行ってみると、みんな元気でフレンドリーで、とても驚きました。ですが、人数が多くて、世の中の厳しさを知りました。とても勉強になったボランティアでした。(2年 Mi)
- 私は最初積極的に参加することができませんでしたが、だんだんと慣れていきました。ホームレスの方はとても明るくて、前よりイメージが変わったと思えました。次回参加するときは、今回の経験と反省を活かして、自分自身でできるボランティア活動にしたいです。(2年 Ht)
- 今回の炊きだしでは初めて女性の方を見かけました。前回より10人以上増えたということで、まだ増え続けているのかなあと思いました。早く減ってほしいと思えます。(2年 Se)
- 友だちに誘われて初めて炊き出しボランティアをやってみました。ホームレスの方の大変さを目の当たりにしました。また機会があったら参加したいと思います。(3年 Yi)

夜回り 6月10日(水) 小雨 20:00～

- ①東西線工事に入って、国際センター裏の川沿い洞窟のおじいさんもない。萌友のアパートに入った。それはそれでよかった。ベンチの人は寝たまま。
- ②西公園旧図書館奥の小屋の住人、はげ上がったおじいさんは五橋公園炊きだしの常連だった。
- ③その隣の住人、20代の若者は訪ねたときは不在だった。帰りかけるところへ追いかけるようにやってきた。カップ麺・おむすび・ゆで卵・缶詰を置いてきた。
- ④陸橋下ハウスのOさん。「あの20代の若者は怪しいと見て、交番の署長以下数人毎日見張りに来ているよ。……確かに怪しい。……でも、おれも人のこと言えないなあ。」そう言って一人で高笑いしていた。……

☆今月も小学校からたくさんの献品をいただきました。お礼申し上げます。1つとして無駄にせず役に立っております。次回は7月11日の炊き出しになります。よろしくお願ひします。

炊きだし 7月11日(土) くもり 12:00 ~ 五橋公園

ボランティア参加者30名。本校からは生徒10名、卒業生1名、教員1名、合計10名参加した。社会の状況を反映してか、60人ほど集まったホームレスの方の中に、この日初めて女性の方を5~6人も目にした。今までなかったことだったので、長く関わっている者としてはやや驚きだった。全国カトリック新聞の記者が取材に来ていて、準備の時から現地での炊きだしに至るまで、高校生たちに張り付いてしきりに取材していた。今回の参加生徒たちは3年生を中心に快活で元気だったので特にも目立ったのだと思う。生徒たちは概ねのびのびと参加し、衣類提供の場所では度々大きな笑いの渦も起こっていた。

生徒感想から~

- 最近はずいぶん人も見るようになったり、女性の方が多くなってきたなと思うようになりました。社会の大変さが分かる気がしました。(3年 Ya)
- 初めての参加でしたが念願がかないました。仕事はテキパキできたと思います。ホームスの皆さんも喜んでくれたのでよかったです。やっぱり一生懸命やったら喜んでくれた喜びも大きいんだなって思いました。(3年 Yk)
- 最初は不安でしたが、自分の仕事をしているときが楽しかったです。衣類整理をしながら皆と楽しく一生懸命仕事ができる上、ホームスの方が喜んでくれたことがよかったです。(3年 Am)
- 今回のボランティア活動を通して改めて社会の現実を目にした気がします。ホームスの人達のために役に立てたか分からないけれども、とても楽しかったです。次も頑張りたいです。(1年 Rr)
- 初めての参加で、緊張や不安がありましたが、ボランティアの皆さんが優しく仕事を教えてくれたので、とても和やかに楽しく作業をすることができました。次回の参加の時は、ホームスの皆さんともっと会話できるといいです。(1年 E)
- 2回目のボランティアをやってみて、ホームスの方たちがわたしたちの作った食べ物を美味しく食べてくださったのが何よりも嬉しく感じました。(3年 Yi)
- 初めての炊き出しボランティアへの参加で学んだことがたくさんありました。反省点は準備の途中でポーッとしていることがあったことです。またホームスの方と笑顔で接することができてよかったです。(1年 Sk)
- 初めての参加で準備が一番大変でしたが、ホームスの方々に「ありがとう」など言われたときは、頑張ってきてよかったなと思いました。(1年 Mh)
- おにぎりをたくさん心をこめて作りました。また、野菜などを切りとても大変でした。ホームスの人達に喜んでもらいとても嬉しかったです。初めてでしたが、いい経験をしたと思いました。(1年 Rn)
- よかったことは、いがいとホームスの人たちが怖くなくて会話も少しできたことです。次回も積極的に参加したいです。(1年 Mk)

夜回り 7月8日(水) 小雨の晴れ間 20:00 ~相棒なし(慣れた)

- ①国際センター裏。ベンチの人は寝たまま。一声だけかけて、おむすび・ゆで卵・カップ麺・チラシを置いてくる。
- ②西公園旧図書館奥の小屋の住人、Fさんはお元気。
- ③陸橋下ハウスのOさん。「自転車が壊れてねえ。」と。「今日も一万三千歩歩いたんですよ。」と万歩計を見せてくれた。「でも、何もない。」……このOさんが歩いて何もない?——ほんとに何もないにちがいない。
- ④図書館奥左の住人はどうも4~5人いるようだが、人に会おうとしない。

☆今月は高等学校職員の皆様からチャリティで 3,691 円の献金と衣類の献品をいただきました。また小学校からもたくさんの献品をいただきました。ありがとうございました。

炊きだし 8月8日（土）小雨後曇り 12:00～五橋公園

60人ほど集まったホームレスの方の中に、この日は女性の方は4人。ボランティア参加者は30名。本校からは生徒9名参加した。本校の生徒たちはボランティア同好会が主体。その部長と副部長は2月のパレス募金活動など正平協の活動へ既に何度か参加している。元寺小路教会で9時から準備を開始して11時半出発。

○とてもスムーズに準備できたのが良かった。靴を配る際、黒を求めている人が多かったがあまり数がなかったので、今回は増やすべきだと思った。 (3年 A)

○他校の方もボランティアにきていていつもより人数が多かったので、準備もスムーズに行ってよかったですと思いました。ホームレスの方に話をかけるのはとても難しくとまどってしまいました。今回は少しでもホームレスの方と話せると良いなと思いました。 (2年 M)

○また今回も前回よりもホームレスの人たちの数が多かったのですが、準備もスムーズにできて良かったと思います。次回も頑張りたいです。 (2年 S)

夜回り 8月4日（水）曇り後小雨 20:00～

①国際センター裏。ベンチの人は寝たまま。「こんばんわ、正平協です。おむすび・ゆで卵とチラシを置いて行きます。おやすみなさい。」

②西公園旧図書館奥の小屋の住人。声をかけると、蚊の鳴くような返事が返ってきた。開いたドアの中に電灯を照らすと、やせ細ったおじいさんの人のよい笑顔が浮かび上がった。それがなんだか切なくて、すこし悲しくなった。

③左奥の住人は呼んでも出てこないよ、と言われた。周囲に数人の生活の気配はあり。セット品を置いてきた。

④陸橋下ハウスのOさん。水色のビニールシートがなく、かわりに白いシートで全体を覆っている。最初呼んでも返事がない。まさか、とあわてて声を張り上げたら、やっと中から返事がした。「ああびっくりした。いないかと思った。」「ああこれね、3日前に変えられたの。このシートだと外から見えるようになってるのよ。……今日は何も食べてない。手に入らない。」そんなやりとりになった。……

☆次回は9月12日が炊きだしです。よろしくお願ひします。

炊きだし通信 VOL32

2009,9月

炊きだし 9月12日（土）曇り 12:00～五橋公園

公園はまだ工事中で、奥の終わった一部を使つての炊きだしになった。そのスペースは勾当台公園野外音楽堂前の円形ベンチと同じ形で、皆さんが日常品セットの配給と豚汁とを両手に持って腰掛けるにはとても好都合に見えた。

この日は今までお会いしていない新しい人が多い。しかも確実に増えている。社会が大変になっていることの証左であろう。それがボランティアスタッフの共通した感想だった。

本校からは学校祭直後でもあり、今回のボランティア参加生徒はなかった。毎回大人数で参加させて頂いて来たので、中休みである。「若い人たちがいつもいるのに最近慣れているものだから、今回はとてもさびしかった。」というたくさんのありがたいご感想を正平協の方達から頂いた。卒業生の一人は今回は最後までいてくれた。

中・高と小学校からまたたくさんの献品を預かって行くことができた。また、学校祭での私の拙い怪談で、4,976円献金を頂いたので、それも一緒に届けた。さまざまにほうとうにありがとうございました。

夜回り 9月9日（水）晴れ 20:30～22:00

炊き出しボランティアに時々参加しにくる卒業生の母親が、「この活動に来ると、日常の自分を見直すことができる。」と語ったことがある。ご本人も本校の卒業生でもあるが、聡明なご婦人である。ボランティアの原点でもあると思う。夜回りで一人歩きに慣れた自分だが、巡回していて遠慮されたり警戒されたり……。怖い思いもあり。しかし、訪問される側の人たちも、いつも一人。図書館奥のNさんは暗いドアの奥からいつもか細い声で恐る恐る返事を返してくる。ナルホド自分みたいなオヤジに声をかけられるよりは、やっぱりオバさんパワーの声の方が安心するんだろうな、などと思いながらこの晩は回った。

Oさんから図書館裏のベンチの人を教わり、公園内をさんざん歩き回ったが、発見したのは夜中のギター弾き青年とアベック。それとお巡りさんに、コンバンハと挨拶されただけだった。何しろたいへんな方向音痴なので、次回からは紙と筆記具を持参することにした。

☆次回は9月12日が炊きだしです。よろしくお祈いします。

(注) お知らせ。とぎれととぎれになりながらも平成 17 年 3 月 3 日から発行を続けてきた『炊きだし通信』(旧『夜回り通信』)を今回から本校ブログに載せることにしました。原則生徒個人名はふせて。本学院小学校の保護者をはじめ高校の卒業生など、炊きだし用にといつも献品や献金を下さっている方にこの報告が少しでも多く届くことを願っています。よろしくお願いします。

炊きだし 10月10日(土) 晴れ 12:00 ~ 五橋公園

集まったホームレスの方は62人(女性は先月より減って二人)でした。その中に、生活保護費でパート暮らしをしている人が2人いたので、Wさん(カリック正平協会会長)が話して以後ご遠慮願いました。本校から今月は生徒5名が参加しました。さらには2年前の卒業生の母と、3年前の卒業生が参加しました。生徒5名(2年生3, 1年生2)のうち3名は前日に声をかけた人たちですが、快く即答で受けてくれました。皆一度は正平協のボランティアに参加したことのある諸君です。でも炊きだしボランティアは初めてでした。

元寺小路教会に9時に集合していざ準備開始です。炊きだし新米二人のいる台所をのぞくと、ずっとな板でネギを刻んでいました。ときどき包丁がグジャグジャになっていました。そのうち一人が抜け出してきました。目からこぼれ落ちる涙が止まりません。ティッシュを取りだして「先生、私お嫁にいけません。」などと、台詞まで付けて抗議してきました。ということは、余裕があったのでしょうか。「おまえたちは、一生切る分のネギをきょう切ったね。」と言っておきました。11時半頃出発。ボランティア生徒はWさんの配慮で、豚汁やおにぎりを渡す先頭の係に付けていただきました。こころ根がやわらかくて、優しい生徒たちです。

~参加生徒感想から~

- ホームレスの人がこんなにいるとは思いませんでした。服を選ぶときサイズが合わなくて困っている人がたくさんいました。それを見て、自分のはかなくなった靴を捨てたりしないで、大切にしないといけないなと思いました。(2年)
- 自分からスタッフの方に聞いて仕事をするようにしました。たくさん手伝うことができよかったです。炊きだしは初めてだったので、予想以上に大変でした。ホームレスの人たちが、どのように生活しているのかを目の当たりにして、今の自分たちに何ができるのか考えるべきだと思いました。(2年)
- 現地に行った時、今まで自分がどれだけ裕福なのかを知った。ボランティアをしてゆく中で、ご飯の提供や衣類の提供で喜んでくれたことが、自分のことのように嬉しかった。また、参加したい。(2年)

今月も本学院の小・中高からたくさんの献品をお預かりし届けましたが、特に今回は小学校保護者から数十キロはあるお米をはじめ海苔などの献品をたくさんいただきました。届ける私自身が、それらの献品を目にしたときに、実は誰よりも一番元気をもらい、挫けそうになったときもエネルギーをもらっています。本当にいつもありがとうございます。

夜回り(正平協主催。「炊き出し案内」が目的の夜間巡回。ここ数ヶ月公園方面を一人で担当。)

10月7日(水) 曇り後小雨 20:00 ~ 台風接近の夜

- ①kセンター裏。ベンチの人は寝たまま。「こんばんわ、正平協です。おむすび・ゆで卵とチラシを置いて行きます。おやすみなさい。」Hgさんの話「働いているけど借金がなくなる。不況で仕事がない。家から借金がなくなるまで帰ると言われている。」だそうである。
- ②N公園図書館奥の小屋の住人。声をかけると、先月と同じ蚊の鳴くような返事が返ってきた。開いたドアの中にはやせ細った70くらいの人のおじいさんがいた。そこが済んで小屋の横に電灯を照らすと、人のかたちがスッと現れてちょっとドキッとした。30代らしい人だった。いらついた様子だったので、カップ麺とおむすび類を差し上げて立ち去った。建物の横にも別の若者が一人で伏せていた。台風のことを告げるとびっくりした様子で、「ここにいると何も分からないんですよ。」と言う。若者は無料で洗濯できる所についてしきりに尋ねてきた。建物の裏手には、ビニールを張ってオヤジが一人寝ていた。ムリに起こしたので機嫌が悪かった。差し上げるものだけですぐに退散した。建物を一周し終わり、それぞれに互いに関わらずに孤立して暮らしている人たちを回り終わって、「せつない」と言う単語がフッと声にならずに胸にわき起こった。せつない。さむい…。
- ③陸橋下ハウスの0さん。いつものように周囲の様子について話している内に、0さんの思い出話になった。「ちょうど10年になります。」「えっ?」「ここ来て10年。10年前の9月27日に来た。ベンチを引っ張って来てここで寝ていたら、2日続けて二人の警官が見に来た。それから始まった。10月1日が記念日。……」その日はもう聞くのを半分にして、早々に退散した。……

☆次回は11月14日が炊きだしです。ボランティア参加希望や献品がありましたらお願いします。

炊きだし 11月14日(土) 雨 12:00～五橋公園

おいでになった方は54人。女性は3人。あいにくの雨降りでした。ビニールシートで作った屋根にもすぐ水がたまってしまいます。皆さん黙々と豚汁をすすり、おかわりをしていました。準備していた衣類提供は、次週金曜日の『萌友』食事会(福祉プラザ9回)ですることになりました。ならんでいる方や豚汁をすすっている方にしきりに話しかけている市役所の二人の職員は、来週の食事会(前記)の時に実施するレントゲン検診(無料)の案内のためでした。

「何でも相談コーナー」担当のHさんからの話。相談者4人。すべて20代。支援センターに入所を申し込んだが、14人待ちで入れるのは12月、と言われたとのこと。そのうち一人は昨日角田から「独り立ちしたい」と出てきたという。若いホームレスが急増していて、社会問題化している。若い人は仕事へのモチベーションが高いので何とかしてあげたい、とは会長(W)さんの話。

本校からの参加は今回6人でした。生徒3人、M(卒業生の修道女)1人、卒業生1人、と高橋(遅れての参加)です。生徒は当初9人の予定でしたが、インフルエンザの影響です。今回の参加生徒たちは、経験のあるボランティア同好会の主要スタッフなのでスムーズによく稼いだようですが、人不足でやや大変だったようです。

生徒たちがいつもお世話になっているカトリック正平協会長のWさんは、「正=分かち合い、平=バンザイ」をモットーにいつもイエス様と歩み、ビールとピース(平和……でもタバコ)が大好きな62歳の、生涯「修道者」の方です。高校生のボランティアが入ると、精力的に稼ぐ現場を担当させたり炊きだし現地では汁物を直接お渡しする係りにつけるなど、配慮して下さっています。毎回感謝しています。

～参加生徒感想から～

○今回は雨の中のボランティアだったので、いつもより大変でした。高校生のボランティア人数も少なかったもので、準備も大変でした。公園には若い方や新しい方も多く来ていたので、今の世の中の現状がとても大変だなと感じました。これ以上ホームレスの方が増えないとよいなと感じました。ホームレスの方に『ありがとう』と言われた時はとても嬉しくなり、もっと役に立つことができればよいなと思いました。」(2年)

○今回の炊き出しは雨が降ってとても大変でした。けれど準備などスムーズにできてよかったと思います。私は今回で7回目の炊き出し参加になりますが、仕事も慣れてきて、自分から進んで行動するようになりました。これからも継続してゆきたいと思います。次回もテキパキ働く!」(2年)

○はじめて参加して、まずボランティアの方々の熱い思いに感動しました。それぞれが一生懸命になっている姿はとてもかっこよかったです。私自身は皆さんの足を引っばらないように積極的に動いたつもりです。忙しい中私が質問すれば丁寧に教えてくれて、たくさん学ぶことができました。現地でホームレスの方々とはそんなに関われなかったけど、様子に接してこれが今の世の中なんだと思われました。もっともっと行動力をつけてからまた行きたいです。」(2年)

○今回、初めて参加させていただきました。ボランティアの方々が、黙々と仕事をしていく姿を見て”美しい”と思いました。もちろん、その中に本校生も含まれています。彼女たちの働きは、見ていて、気持ちよさを感じました。スタッフの方々からも信頼され、喜ばれている存在のようでした。本校生の良さを知る、嬉しい体験の日となり、感謝しています。(卒業生のメール)

小学校の保護者の方々から多量の米と食品、ホカロンや衣類をいただきました。中高の廊下にある献品入れにも衣類や米がたくさん入っていました。さらにはご勇退された職員からも10キロの米をいただきました。また、高校のボランティア同好会は発表会に出たときに資料代としてもらった5千円を寄付していました。

Wさんからあずかったお礼状の内容を紹介します。

D学院小学校・中学校高等学校
保護者・教職員の皆様

いつも、ホームレス支援の「炊き出し」に献品をいただき、ありがとうございます。

14日(土)は雨模様で生活用品の提供ができなかったため、20日(金)NPO法人・萌友の「食事会」で提供することになりました。

長びく不況のためか、炊き出しの列に並ぶ人が増えてきました。年末を迎える前に路上生活から一人でも多く抜け出せるように、活動を続けていきたいと思っております。

ありがとうございました。

11月15日

カトリック正義と平和仙台協議会
会長 W

夜回り(正平協主催。「炊き出し案内」が目的の夜間巡回。ここ数ヶ月西公園方面は高橋が担当。)

11月11日(水)の晩は新人戦に部活生徒引率で古川へ出発したため、参加できず報告できません。お詫びします。

☆次回は12月12日が炊きだしです。

ボランティア参加のお問い合わせや献品がありましたらお願いします。

炊きだし通信 VOL35

2009,12 月

炊きだし 12月12日(土) 雨のち晴れ 12:00 ~ 五橋公園

集まったホームレスの方は64人(女性三人)でした。準備の時には、冬物衣類(オーバー・セーター)の献品がどっさりつまった衣類ケースが車4台分ありました。採寸したズボンなどつめなおしては車に運ぶという作業が数えきれない回数。「きょうは働きがいのある日でした。」と後の反省会で述べたほどでした。

出発時には青空がのぞいていてほっとしました。正平協会長のWさんのことば「きょうも私たちの真ん中に親方であるイエスが居て下さって、お会いするお一人お一人におん身を大切にというメッセージをお伝えすることが出来ますようにお導き下さい。」に合わせて皆でお祈りして出掛けました。

今月も初めてお会いする若い方から中年の方が多く目立ちました。まず配り方からします。おむすび2個ずつ・おそうざいセット1・バナナ1本・豚汁(おかわりOK)他に後からリンゴ追加。他に今回はクリスマスプレゼントとして毛糸の帽子と手袋、それにお菓子とキャンディーの袋詰め。これらの食べ物がお一人ずつに配られました。お出でになった方たちは一列になって並びます。待っている間に、ビニール袋に入ったセット用品を配ってゆきます。中は下着・洗剤・石鹸・ホカロン5・靴下・タオル・ゴミ袋・ひげそり・歯ブラシセット等です。下着のサイズを確認するため、「S? M?」と聞きながら渡してゆきます。他に女性用のセット袋も用意してあります。

本校から今月は生徒4名が参加しました。さらには卒業生が1名参加。今回は後期中間試験の前々日に当たり、参加予定の生徒たちがたくさん申し訳を言って不参加となりましたが、4名は「はい、行きます。」と言いました。皆一度は正平協のボランティアに参加したことのある諸君です。今回は、食べ物配りからシートでの衣類提供まで大変な忙しさを経験したと思います。私は靴の係をしましたが、新品40足余り出した中で、28のサイズが不足しました。

~参加生徒感想から~

- 炊きだしは今回2回目の参加だったので、前回の活動がとても良い経験になっていました。細かい内容が分かっていたので、次に自分が何をすべきかが考えて行動できたと思います。はっきり話せなかったところは改善したいと思いました。次回はさらに友人や教会の方とのチームワークを大切に活動したいです。(2年)
- 今回は服を担当したのでホームレスの方と接することが多かった。服はたくさんあったけれど、サイズが合わなくてあきらめる人がたくさんいました。また今回はボランティアの方ともたくさんお話をしました。いろんな話を聞かせてもらったり教えてもらったりして、とても充実した一日になりました。(2年)
- 今回の炊きだしで初めてホームレスの方たちとまともに話ができてとてもうれしかったです。次回もっと積極的に活動をしたいと思います。(1年)
- 今回は2度目の参加でしたが、前より慣れていたのでホームレスの方たちともいろいろ話せて、とてもよかったです。今回は衣類が多く少し時間がかかってしまったけれど、その分ボランティアの人たちとも長く接することができてとてもいい経験になりました。次回はもっと手早くホームレスの方たちに衣類や温かいご飯を差し上げられるように頑張りたいです。(1年)

今月も小・中高からたくさんの献品をお預かりし届けました。小学校保護者から十キロ以上もある米袋をはじめ冬物衣類の献品をたくさんいただきました。また、献金2,263円もお預かりしました。小学校昇降口の廊下にいつもおいてくれる献金入れに、児童や保護者の方が心づいた時に入れて下さったものです。そのときの心が積み重なっています。また、高校の卒業生Aさんから「炊き出しに」とときどき献金をいただきますが、今回も1万円修道院へ送って下さいました。ありがとうございました。

夜回り12月9日(水) 晴れ

セット品(ホカロン5・リンゴ2・カップ麺1・おむすび2・ゆで卵1・12日の炊き出し案内チラシ)それと自炊者には米の入った袋とポンペ1本の準備の後、出発。寒いが、冷えるほどでもない晩。

①国際センター裏。ベンチの人は寝たまま。靴がきちんと並べてあるので確か。声をかけて、おいてくる。帰り、センターの裏で狸(確かに!?!間違いなく!)と出くわして暫く睨めっこした。かわいい。たのしい。そのうちフツと消えた。時計は9時2分。

②西公園旧図書館奥の小屋の住人。お変わりなく、にこにこ。

③自転車置き場の20代青年。「毛布は?」と尋ねると、「だいじょうぶです。」と感謝するような明るい声が返ってきた。スッとあったかくなった。

④図書館軒下の30代の方は『萌友』アパートに入ったばかりだった。

④陸橋下ハウスのOさん。「新しいホームレスが来ると、交番署長が必ず情報をもらいにやってくる。」「Oさん、ここに西公園総合案内所という看板立てているんでしょ?」「ないない…ハハハ」「寒いから気をつけて」「羽毛布団があるから大丈夫。朝暑いくらい。」「……………」

☆今年1年間のたくさんのご支援に対し、感謝しきれません。どうか来年もよろしく願いいたします。1月第2週は炊き出しお休みです。かわりに、12月31日(榴ヶ岡公園)年越しの炊き出し、1月2日(五橋公園)正月の餅つき炊き出しがあり、献品類はそのときお出しすることになります。ありがとうございました。

炊きだしボランティア通信 vol36

2010,2月

炊きだし 2月13日(土) 晴れ 12:00~五橋公園

集まったホームレスの方は61人(女性2人)でした。衣類の切り替え期なので、冬物衣類のオーバーやセーターをできるだけ多くお渡しすることになりました。

本校 から今月は生徒3名が参加しました。おとなしく真面目な生徒たちです。参加が2回目でよく働いていました。また卒業生が1名参加。さらにOGで保護者でもあった方が現地参加で合流しました。今月は S 学園の皆さんも7名参加して熱心に働いていました。来月以降も参加するとのことなので、度々ご一緒するかと思います。



(写真)

~参加生徒感想から~

○前回は緊張していて手伝いの方やホームレスの方ともなかなか話ができずに終わってしまいました。ですが今回は積極的に行動することを心がけて調理の手伝いを行い、またホームレスの方たちとも気軽に話せました。衣類提供の時「ありがとう」と笑顔で言われた時、参加して本当によかったと思いました。このボランティアの機会を大切にしたいです。 (1年)

○今回2回目の参加でしたが、ホームレスの方たちと交流をして、前回気づかなかったことやできなかったことができてよかったと思います。この経験を生かしてこれからもボランティアしてゆきたいと思います。 (1年)

○今回2回目でしたが、やっぱりよい経験ができたなと思いました。今回は S の人も一緒に活動して、それもまたよかったなと思いました。次も楽しく、人のためになれたらいいと思います。 (1年)



献品 小学校からたくさんの献品をお預かりし届けました。廊下に積んである献品の山を目にした時ほどワクワクとしたことはありません。また先に企画した翌日（14日）の募金にボランティアの生徒たちをとられた観がありましたので、3名の参加を知ったのも嬉しいことでした。これらは活動力の元です。

夜回り 2月10日（水）晴れ 20:00～21:30

2年ぶりぐらいの父子での夜回り。現在中国にいる息子が帰国中なので、彼が高校時代に世話になった正平協へ連れて行った。皆さんは、変わり果てた？息子の姿にとてもなごんでいました……。

①国際センター裏。ベンチの人は寝たまま。靴がきちんと並べてあるので確か。声をかけて、おいてくる。

②西公園旧図書館奥の小屋のおじいさん。お変わりなく、にこにこ。横の自転車置き場の20代青年。「若すぎ…何してんだろ？」（息子）「いろいろさ…事情あり…」（父）③図書館裏の自炊者不在。④陸橋下の Oさんと息子は久しぶりに対面。Oさん嬉しそうにしてくれた。

（ 記 高橋 寛 ）

炊きだしボランティア通信 vol37

2010, 3月

炊きだし 3月13日(土)晴れ 12:00～五橋公園

集まったホームレスの方は55人(女性2人)でした。調査では市内に150人ぐらいいるといわれているので、炊きだしに来るのは毎回その約3分の1です。(例えば10年来の付き合いになる西公園陸橋下ビニールハウスのOさんは、ご本人の考えで炊きだしには一度も来たことがありません。)午前中の準備の間は小雨模様でしたが、いざ出発という時に空が晴れ渡って皆から歓声が上がりました本校から今回は生徒6人が参加しました。また卒業生の1名参加も定着した感じです。そして今回は、「4月からD学院中学校に入学します。」という子が親子で参加しているのにはじめて出会い、ビックリするやら、うれしかったです。



～参加生徒感想から～

- 久しぶりに炊き出しボランティアに参加したのでちゃんとできるか不安になりましたが、自分から「何かお手伝いできることはありませんか？」と聞いて進んで手伝うことができたのでよかったです。今までは与えられたままやるが多かったので、少し成長できたのだと実感できて嬉しかったです。次回も積極的に参加したいです。(2年)
- 今回で3回目ですが、初めて衣類の仕事をしました。大変だったのですが、よい経験ができ、楽しかったです。また参加したいと思います。(2年)
- 楽しみながら活動することができました。ホームレスの方々の役に立ててうれしかったし、もっと困っている人たちを助けたいと思いました。(2年)
- 久しぶりでしたがだんだん慣れてきて自分の仕事をしているときが楽しかったです。また皆と楽しく一生懸命できた上、ホームレスの方が喜んでくれたことがうれしかったです。(2年)



献品 今月も小学校の保護者の方からたくさんの衣類や食品をお預かりし届けました。

学院の正面玄関にわざわざ届けてくださった方もいました。

ボランティアの形ではありますが、私が炊き出し活動に関わってやや長くなりました。この活動の目的は大きく二つあると思います。ひとつはもちろん、「事情あって路上の方」を可能な立場から自立や社会復帰の支援すること。もうひとつは、孤立している「心」に社会とのつながりを届けるメッセンジャーとしての役目です。カトリック正平協の炊き出しは100%献品と献金で賄われています。それらにはくださった方たちの心が込められています。ボランティアはそれを運び、「路上の方」はそれによって社会と重要なつながりを持っているのだと思います。

このボランティア活動に参加する生徒は、大忙しの準備の中で自分から動かなければならないことを学び、また感謝されることの喜びを心底から味わいます。感受性豊かな時期のこの体験が心を育て日常の身近なボランティアや自分の生き方につながってほしいなと願っています。

この活動をしていて、「先生、今度の炊き出しいつですか？ 行ってもいいですか？」と、学校の廊下で生徒に呼び止められるときほど幸せな瞬間はありません。……やめられるわけがない。

今月の夜回りは参加できませんでした。

4月7日(水)夜回り(18時～)。4月10日(土)炊き出し(9時～準備)

ご参加体験希望や献品がありましたらご協力お願いします。

(記 高橋 覚)

[【2010/03/27 14:25】](#)

炊きだしボランティア通信 VOL38

2010,4 月

炊きだし 4月10日(土) 晴れ 12:00～五橋公園

公園に集まった方は65人(女性2人)でした。

元寺での準備の方は高校生のボランティアも多く、テキパキと進みました。参加していたシスターの先唱で出発時に、『主よ教えてください』という自己からの解放を願う祈りを皆で唱えました。「主よ 教えてください 自分だけを 愛さないことを 身内だけを 庇わないことを 仲間だけと 親しくしないことを 誰からも愛されない人をこそ 誰よりも大切にすることを云々……」と続いてゆくものです。私の好きな『マザーの愛した祈り解放』のフレーズにちょっと似ていて惹かれました。

本校とS学園から今月はそれぞれ生徒7名ずつ参加しました。本校は卒業生が1名追加。皆非常に熱心に働きました。さらに嬉しいのは、この春本学院中学校に入学したお姉ちゃんと妹がパパと3人で今回も参加していたことです。炊きだしから帰って中学生の後輩もまじえて写真を撮りました。

～参加生徒感想から～

○初めての炊きだしボランティアだったので不安でしたが、積極的に動くように心がけて、頑張りました。大量のおにぎりや豚汁をつくって大変だったけど、ホムスの皆さんに手わたしたとき、ありがとうと言ってもらえて、やってよかったなと思いました。今回参加してみて、自分も料理を作れるようになりたいと思いました。

(3年)



- 今回はボランティアの人数も多く、準備もスムーズにできたのでよかったと思います。ホムスの方にもすばやく渡すことができよかったです。(3年)
- 今回の炊きだしは晴れていてとてもボランティアしやすかった。先月よりホムスの方が多少増えてたのでびっくりしました。その中に女性が二人いて一人は若い人だったのでさらにびっくりしました。次回も自ら進んで取り組みたいと思います。(2年)
- 前回参加したときよりもホムスの方の人数が少し増えていたので驚きました。そして、手伝いもスムーズにでき周りの人と協力して活動できたと思います。(2年)
- 初めて参加しました。最初は何かかわからなかったけれど、白百合の人たちと協力してスムーズに準備と現地での手伝いができてよかったです。次回からも参加してゆきたいです。(2年)
- 今回初めての参加だったのですが、他校の生徒とも仲よく交流しながらできたのでよかったと思う。私が思っていたよりもホムスの人たちはとても元気で、私も楽しく仕事をできたことが嬉しく思った。(2年)

献品 今月も小・中高から献品をお預かりし届けました。ありがとうございます。

夜回り 4月7日(水) 年度初めの仕事が終わらず、この日も参加できませんでした。

☆次回は**5月8日が炊きだし**です。9時から元寺小路教会での準備開始となります。

ボランティア参加希望や献品がありましたらよろしくお願いします。

炊きだしボランティア通信VOL39

2010,5月

炊きだし 5月8日(土) 晴れ 12:00～五橋公園

公園に集まった方は64人(女性2人)でした。

今月の高校生ボランティアは連休明けのためか、本校からの生徒は3年生3名だけとなりました。もう一人いたのが、途中まで来て友達との待ち合わせ場所に迷い帰ってしまいました。(ああ、情けない…)それに卒業生が1名。さらにもう一人、時々現地参加をしてくださる卒業生の母親です。この日元寺小路は急の葬儀が入ったということで、靴の仕分け作業などは現地でおこなうことになりました。靴はたいへん。それまでさまざまな問題があったため、新品の靴一つ一つにサイズと色を書いたカードを入れ、裏に名前と寝場所、自転車か歩きか等を書いてもらってから渡します。そうやって調査をかねています。

この日はまさに炊き出し日よりというか、誰の顔にも笑みがこぼれるような、好天の日でした。

汁物やおむすびを手渡す3人の生徒はとてもよく働きました。後の反省会でも正平協の人たちからおせじでなくほめられていました。確かに、並んで受け取る人たち一人一人に、顔を見て挨拶しながら手渡す生徒はこれまであまりいませんでした。本人たちもほめられてご満悦でした。

～参加生徒感想から～

○今回2回目の炊きだしだったので前回の反省を活かしてスムーズにおこなうことができた!!炊きだしに参加する度に社会のあり方など現実社会を思い知らされる。そして今回の炊きだしで気になることがあった。前回に比べて若い人が増えている気がした。今年は受験などがあるのであとどれくらい参加できるかわからないが、できるだけ参加して自分のできることをしホームレスの人たちの力に少しでもなりたい。(3年)

○初めて参加して最初は何をしたらよいのかわからずとまどいしましたが、色々仕事を指示してもらい内に徐々に慣れてきて楽しくボランティアに参加することができました。ホームレスの人のために朝早くから夕方までボランティアの方達が準備などしている姿を見て「奉仕」の心を間近で感じました。反省会の時にはほめていただいて私の小さな力でも役に立ったのだと嬉しく思いました。次に参加できる機会にはもっと役に立てるようにがんばりたいです。(3年)

○このボランティアで初めてホームレスの方と接することができました。やっぱり若い人が結構多いのでびっくりしました。準備や炊きだしで自分から積極的に行動することができていたと思うのでよかったです。また、困っている人のために、頑張ることができたのでうれしかったです。この1回だけでなくまた参加したいです。スタッフの方達にほめられてうれしかったです。(3年)

献品 今月は高校の保護者から毛布類や衣類をたくさん預かりました。ありがとうございます。

夜回り 5月5日(水)20時～古参のEさん・Aさんというご婦人と3人で回りました。

国際センタの裏ベンチの人から初めて「おやすみなさい」という返事が返ってきました。私には一番の収穫でした。Oさんにも「3ヶ月ぶり？」などと言われました。

☆次回は6月12日が炊きだしです。9時から北仙台教会での準備開始となります。

ボランティア参加希望や献品がありましたらよろしくお願ひします。



炊きだしボランティア通信 VOL40

2010,6月

炊きだし 6月12日（土）晴れ 12:00～五橋公園

夏の近さを感じさせる、最近ではめずらしいほどに暑い日になりました。公園に集まった方は68人(女性3人)でした。本校からはボランティア同好会新入部員の3年生が二人参加しました。二人は炊きだしに初参加の後、教会に戻る車中から、「あぁあの人さっきの公園の人。…ホームレスには全然見えない。」と言うので、「でも、10年ぐらい前から見かける人だよ」とこたえと、「えっ、マジで？」と驚ろいていました。他に、S学園の高校生が6人炊きだし現地から参加しました。



～参加生徒感想から～

○私はこの体験を初めてしたのですが、とてもよい体験になったと思いました。人とのふれあい、協力することのありがたみなど、いろいろなことを感じました。ホームレスの方とふれあった時、私は幸せな生活を送っているんだなと改めて感じました。ホームレスの方々が“普通の生活”ができる世の中にしたい、してほしいと心から思いました。(3年)

○まず準備では調理をやりました。作る量が多かったし、普段あまりやらないのですごく大変でしたが、ホームレスの方がたくさん食べてくれてよかったと思いました。ホームレスの方と接するのは少し怖かったけど、よい経験になりました。(3年)

献品(小学校保護者)ズボン・ポロシャツ類(新品とクリーニング済の物でした。お手数かけます。)お米、サラダ油、歯ブラシ、タオル、ホテルの洗顔セット



夜回り 6月9日(水) 20:10 ~ 21:30 晴 Eさんと二人。

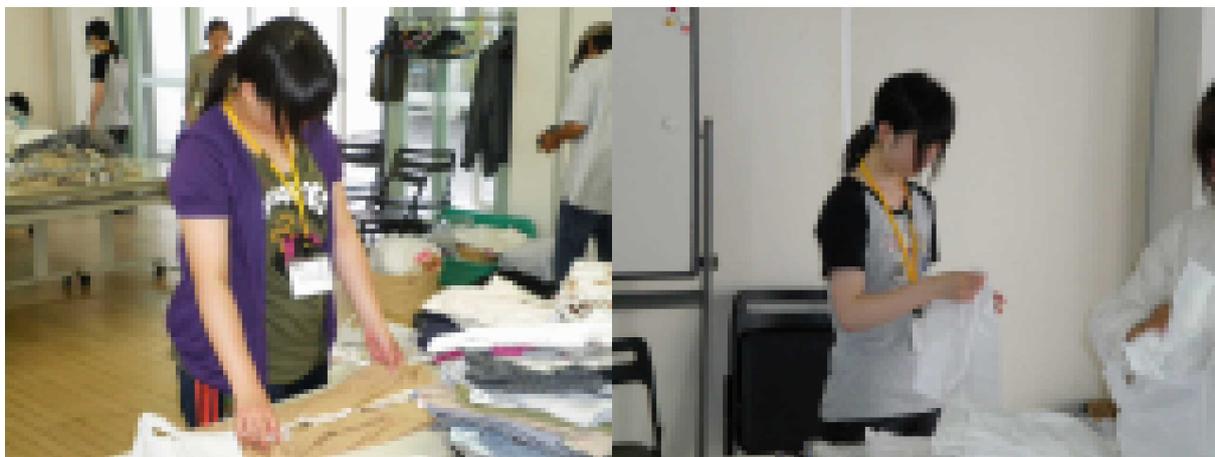
EさんやWさんは夜回りの時、私と違ってよけいなことも言わず黙々とまた淡々と回られる。先輩達を見習いたいと思う。もっともEさんは、畑の作物の話題を向けたら饒舌になった。

炊きだしボランティア通信 vol 41 2010. 7月

炊きだし 7月10日（土）晴れ 12:00～五橋公園

なにしろ暑い日になりました。公園に集まった方は68人(女性2人)でした。本校からはボランティア同好会の2年生部員が三人参加しました。1人は三回目の参加ですが、二人は初参加です。それでも準備の時には大人のスタッフに教えてもらいながらのびのびと一生懸命働いていました。また公園で並んでいるホームレスの人達に、きちんと顔を見ながら笑顔で1人1人に話しかけているのを目にして、たいへん感心しました。生徒たちは、ホームレスの人に若い人が多い気がする事に驚いていました。

「何でも相談コーナー」のWさんの所には、お二人の相談者が来たそうです。1人は、会社が倒産をして3日前から路上を始めたとのこと。「萌友」のアパート(NPO の施設)に入って生活保護申請をする相談でした。申請の審査も徹底した厳しいものなのだそうです。生い立ち調査からはじめ、家族兄弟、親戚にいたるまで連絡しつくして本人の援助について相談するのだそうです。……



～参加生徒感想から～

○炊き出しは3回目の参加で初めての調理担当だったが、スタッフの方と協力をしてスムーズにできたと思う。今回の炊き出しでは前よりも若いホームレスの人が増えていた。これは深刻な問題だと感じた。これからも私にできることを少しずつやっていき、学校以外でも社会の一員として役に立てればと強く思った。(2年)

○今回初めて炊き出し活動をして、最初は仕事ができるか不安だったけれど、教会の方がやさしく教えて下さったので、スムーズに自分の仕事ことができました。石鹸を配っているときや靴をさし上げているときに、ホームレスの方から「ありがとう」と言われてとてもうれしかったです。次回はもっと積極的に多くのことができるように自ら進んで仕事をしてゆきたいです。(2年)

○今回全てが初めてで、実際にホームレスの人達に衣類などを配ったときはとまどってしまってあまり動けませんでした。でも教会の皆さんが優しく教えてくれて、本当にうれしかったです。大変なこともあったけど、みんなで協力できて楽しかったし、とてもよい経験になりました。次回はもっと積極的に動ければと思います。(2年)



夜回り 7月7日（水）20:00～21:30 曇りのち、雨降りだす。湿気150%ぐらい。Tさんと二人で回った。聞けばTさんは自分と同郷の岩手ご出身だった。岩手の水沢の話を懐かしくしながら歩いた。愚直なタイプ。黙々とおむすびを配った。国際センターで歩き出したところから雨が降りだした。裏のベンチに1人、表に1人。西公園旧図書館。軒下でビールをやっている人1人。おむすびゆで卵だけさし上げた。他に奥とその隣もまわり、Oさんのおむすびのないことに気づいた。卵だけ10個ほど残っている。用意した人が間違えたのだろう。「きょうはおむすびがないのです。」と言うと、「えっ」と、今まで見たことのないほどがっかりさせてしまった。申し訳ないことをした。「最近食料がなくてねえ」とはじめて抗議された。おむすびは切れたけれども、それでもゆで卵5個、バナナ2本、米一合。カセットボンベ1本、みそスープの残りの具全部とスープを小鍋に入れてきた。「この陸橋付近の遺跡調査のために立ち退いて欲しいと言われた。だから来月いないかも」「頑張ってください」「明日公安になんて言うか、今夜これからサッカー見ながら考えるよ。」ニヤっとしながら言ったので、これは大丈夫と思った。

炊きだしボランティア通信

vol 42

2010. 8月

炊きだし 8月14日(土)晴れ 9:00～元寺小路教会(準備) 12:00～五橋公園

(炊きだし)

朝から小雨模様の日です。いちおう止んでいるものの、いつポツポツと落ちてきても不思議でない空を時々ながめながら、炊きだしまでもってくれることを祈るばかりでした。高校生の「夏のボランティア体験」期でもあり、R 高校や T 高校などの生徒が3人ボランティア参加に来ており、S 学園からも今月は6人来ていました。そこに本校が7人混じりましたから、W さんはじめ指導する正平協スタッフの人たちは本当に大変だったと思います。高校生たちも一日熱心によくはたらき通しました。お出でになったホームレスは61人でした。



○下着類などのセット商品を準備中です



○こちらはそうめん汁の準備です



○パタパタ、おむすびのご飯を冷まします



○アチチーですが、にぎります



○おむすびです、どうぞ。袋に入れますね。



○こちら衣類提供コーナーです。大きさはいますか？



○それ気に入りましたか？



○このカードに書いてから、靴をさしあげます。



○大きさどうですか？ 見てください。



○ W 会長さん、お世話になりました。 イエーイ !!

夜回り 8月11日(水)20:10~21:30 雨あがり。台風4号接近中。

Aさんと二人で回った。気丈な年長のご婦人で、1月にも一緒に回ったことがあった。お盆にさしかかった街の雑踏を話題にしながらい先へ向かった。国際センターもこの時節は明かりが消えていた。裏のベンチに1人、さすがの暑さから下着姿でうつぶせに寝ていた。表のベンチの人は、私たちがそこへ向かう途中、自転車に荷物を積んで立ち去っていくのにすれ違った。「こんばんは」と急いで声をかけたが返事が返ってこなかった。そういうこともありますと私が言うと、Aさんは黙っていた。西公園旧図書館。奥の小屋のおじさんはお変わりない。「暑いですね。だいじょうぶですか」「ハイ」。わき小屋の30代青年には、Hさんから言付けをもらって来ていたのを伝えた。「13日金曜日11時メディアテーク1階で待ち合わせだそうですよ」と言いながら書き付けを渡した。萌友アパートに入りたい、と言うのに、ちょうど一部屋空いているので面接するということだった。この青年は気むずかしくてあまり顔を見せない。私らもテントの隙間から出てくる手に向かって話すことが多かった。いずれ、相談がうまく進むことを祈った。Oさんからは、祭りの間中いかに過酷な仕打ちを受けたかの説明があった。夜中に数時間だけ寝に帰った。……それにしても暑いですねえ、Oさんならここ(陸橋下テントハウス)にエアコンつけられるでしょ？——ハツハツハ実は太陽光電池を引いて扇風機をつけようとしたけどちょっと失敗しちゃってねえ。……とてもお元気そうだった。

次回の炊きだしは9月11日(土)になります。

献品参加でのご協力も歓迎いたします。よろしくお願いいたします。

お・ま・け

今年おこなわれた小・中学生と保護者対象のオープンスクール(7月31日)に、ボランティア同好会もはじめて参加しました。

教室3分の1を使って、パネルと壁に活動発表をただけのものでしたが、ご覧になっての感想アンケートをたくさんの方が書いていって下さいました。その一部を紹介します。

「ボランティアに興味ありますか？」という問いに、回答者はすべて「はい」でした。以下は感想の主なものです。

- ・ とても色々なことをしていてすごいと思いました。しかもとても楽しそうですね。
- ・ 積極的に活動していると思いました。
- ・ よくやっています。目立たない活動を快く受け入れていること、素晴らしいです。がんばって下さい。
- ・ 本気モードの真剣さが伝わってきます。
- ・ 何度か来たことがあるけどとてもおもしろい。
- ・ 頑張ってください。(多数)

感激です。ありがとうございました。

炊きだしボランティア通信 vol 43

2010. 9月

炊きだし 9月11日(土)晴れ 9:00～元寺小路教会(準備) 12:00～五橋公園(炊きだし)

雨が我慢してくれた日でした。同好会から6人参加しました。指示を待たずにバリバリ精力的にかせぐ生徒たちでした。公園には68人(うち女性2人)集まりました。路上に出て1週間という人もいました。市の施設もNPOのアパートも満室で1ヶ月待ちだそうです。

この日はいつもの炊き出しの前に、「亡くなった仲間を偲ぶ会」が行われました。お名前と戒名を書いた位牌が19名分台の上に並び、RA 神父(カトリック塩釜教会)の追悼の祈りとKS 住職親子(徳照寺)の読経がありました。その後全員で焼香しました。炊き出しから戻っての反省会でのW 会長の言。「見ていたら、知り合いの位牌に涙する人などもいらして、しみりしたい会になりました。参加した人たちは、これで安心して死ねると思ったのではなく、あす一日あさって一日への生きる生を得たのではないか。」焼香にボランティアの生徒たちと一緒にになにか普通に参加できたことについて、ボランティア顧問として不思議な幸せ感を持ちました。と同時に浸っている場合でない、耳の奥でガツンという音がしました。(高橋寛)



「私はこの日のボランティアを通して気づかされました。まず、自分がどれだけ幸せなのかということ。また、仕事を教えて下さる方たちも大変親切で優しくて、すごく楽しくよい経験になりました。」



「初めて炊き出しボランティアに参加して、とても中身が濃い一日でした。ものの仕分けとかやっていると楽しかったです。人のために何かするのはやっぱりいいことだと思いました。また、自分の知らないところでこういう活動をしている人がいたんだとびっくりしました。現地の人と関わってみて、いま自分のいる環境って幸せなんだと改めて実感しました。もっともっと人のために手伝いたい。そして何かを得て帰って来たいです。」

「炊き出しボランティアを体験して、1年生の時に1回夏ボラで炊き出しに参加したときにいた人たちが今回もいました。豚汁やおにぎりをつくったり、服や靴の仕分けをしたり、すごく大変だったけど、「ありがとう」と言われて嬉しかったです。ナニゲにすごくやりがいがあって、たくさんの人とも関わられたし楽しくできました。」



「想像していた以上に大変でしたが、学ぶことができたのでよかったです。皆さんがおいしそうに豚汁やおにぎり・おかずを食べていたので、つくってよかったです。皆、テキパキと働いていて、とても役に立ったと思います。次回、今回以上にがんばって働きたいです。

「前回参加したときよりもボランティアさんもホームレスの人たちも増えていてびっくりしました。今回も、とてもよい経験ができたと思います。



「今回は路上でなくなった人たちを「偲ぶ会」というものできて、ホームレスの人たちも安心できたのではないかと思います。





次回は10月9日に参加します。献品などありましたらよろしくお願いします。

炊きだし 10月9日(土)晴れ 9:00～元寺小路教会(準備) 12:00～五橋公園(炊きだし)

今月も雨が我慢してくれた日でした。準備の午前中から時々ポツリポツリと。せっかくのボランティア経験生徒に衣類提供が中止になりませんようにと、空を見上げて祈ったのが通じた?のか、なんとか予定通りの実施となりました。公園には70人(うち女性2人)集まりました。初めて見かける若い人も多く目につきました。

同好会から5人参加しました。他に卒業生が4人参加していました。お一人は元々のスタッフですが、後の方たちは自主参加です。お子さんがやはり卒業生で、現役生の時このボランティアと一緒に参加したのがきっかけで時々参加しに来るようになりました。以前「ここへ来ると日常の自分をふり返る」と話していました。子どもの卒業後の近況報告を時々してくれます。それにも嬉しく思います。



衣類整理 目がまわる。

「お楽しみコーナー」の衣類を担当したのですが、反省点は、サイズを書いてあった紙が違って大変だったことです。また、途中で雨が降ってくると思ったのですが、なんとか降らず、ホームレスの方々も来られてよかったです。しかし、その中に新しい人が増えていたので残念な気持ちにもなりました。(2年)



あちち!!なんて、言うひまもない。



ただ今格闘中なのです。ゆとりのない顔。

普段遠くから見ていることが多かったホームレスの方達と話したりすると、みんな「ありがとう」や「これください」って話してくれて、取っても良かったです。やってみないと分からないことを私は出来て良かったし、ホームレスの方たちと接することで、今までの自分を見直すことが出来るように感じました。(2年)

久しぶりの炊き出しで少し緊張したけど、教会の方々とすぐ仲良くなれて準備なども楽しくできたので良かったです。ホームレスの方々が少し増えたので驚きました。(2年)

さあ、整いました。お店開きです。



さあ、豚汁始めますよ。

今回はボランティアの方が少なくて、大変だろうなあと
思ってたけど、スムーズにできてよかったです。先
月は豚汁を渡すときに私にお礼を言う人がいなかった
けれど、今月は何人かに言われました。それがとても
忘れられません。(2年)



このサイズはどうですか？ 履けますか？



おむすび、どうぞ。



きょうもお世話になりました。W 会長。

献品

高校の保護者の毛糸のポーチとジーパンなどの衣類をたくさんいただきました。

小学校の保護者の方からは米15kgいただきました。早速届けました。

夜回り

10月6日(水)20:00～ 本校の卒業生Aさんと同行。歩きながら「〇〇先生お元気ですか。」を連発された。OGの皆さんのたくましさ后感嘆した。これが底力といわれる強さだな、と思った。

国際センター裏をまわり、おやすみ中の方の横におむすび類を置き、旧図書館へ。Oさんの話で、アパートに入った人が戻っているとのこと。心配して知らせてくれた。

※そのOさんには、この後の10月16日に本校の聖堂の前を自転車で通るところにバッタリ出会った。「市役所の社会福祉課に呼び出された。」と言う。何かと行って見たら、15年ぶりほどに、Oさんの姉が待ちかまえていて、さんざん説教を食らったと言う。それはよかったですねえ、とも言えず、こちらもニヤニヤするしかなかった。

次は11月13日が炊き出しになります。暖かい衣類など献品にありましたら、

お願いします。

炊きだしボランティア通信 vol 45

2010. 11月

炊きだし 11月13(土)晴れ 9:00～元寺小路教会(準備) 12:00～五橋公園(炊きだし)

天気よし。炊きだし参加者 62 名(女性 1)並んで待っている方達へ「元路上の方でも生活保護を受けている方の炊きだし参加はご遠慮下さい。」というお手紙を正平協会長の W さんが配って歩いた。それだけ多いということだった。本校のボランティア同好会は今回は二人の参加。ちょうどこの日は S 学園からも二人参加していて4人で仲よくやってよかった。



S 学園の生徒(左)と息のあった衣類作業中です

「今回は人数が少なかったですが、その分やらなければならないことを自分で考え、自分のやるべきことをすることができたと思いました。そして色々な交流もできとてもよい経験ができてよかったです。」(2年)



「いらっしやいませ。おひたしはいかがですか。」

「今回は他のボランティアの他に S 学園の人とも一緒に活動できてとても楽しかった。また今日は積極的に仕事ができたとと思うのでよかったです。」(2年)



次は靴屋さんです。

「このカードに書いてください。」



今日活躍した皆さんです。

献品

高校と小学校の保護者の方からたくさんいただきました。届けました。ありがとうございます。

夜回り

11月10日(水)20:00~21:30 Aさんという教会のご婦人と同行。この方はイノシシ年にちがいないと思わせるほど猪突猛進の方。国際センター裏をまわり、おやすみ中の方に向かってお土産券の説明をし出したので、あわてた。西公園旧図書館。奥の小屋。周囲をビニールテープでぐるぐる巻きに張り巡らし、入り口はガムテープで塞いでいた。そして「立入禁止」の札がはってある。「不法入居者は11月19日までに立ち退くこと。」図書館長名の書き付け。「ひどい」二人でカッとなった。中のおじさんは不在。いちおう声をかけたが応答なし。帰ろうとしたときに、小屋の外の毛布がふくらんでいるのに気づいて声をかけた。本人だった。よかった。

陸橋下のOさんには元気なかった。「市の公園課と教育課が俺をここから追い出そうとそのうち姉を連れてやって来るにちがいない。」とカッカしていた。そのOさんから、公園のそばに黒ずくめおじさんが一人暮らしている、と聞いて帰りに寄ってみることにした。車を降りると、Aさんが「それらしい人を今見かけた」と言って走り出してあっという間にいなくなった。そのことの方にあわててしまった。……

この通信を発行できたことに感謝します。ボランティア同好会顧問 高橋 覚

炊きだしボランティア通信 vol 46

2010. 12月

炊きだし 12月11(土)晴れ 9:00 ~元寺小路教会(準備) 12:00 ~五橋公園(炊きだし)

天気よし。炊きだし参加者61名(女性3)女性2人はパートナー付き。内一人は顔半分土色。DVを受けているのがわかる。刑務所から出所したばかりの詐欺師のオヤジが最近毎回炊き出しに来て、あれ取ってこいこれ取ってこいと指図しているのが目についた。見ても不快であった。「提供品の衣類は自分のものだけ取って下さい。」正平協スタッフが声高に言った。今日はまた、紙袋が不足した。配給の米については「アパートの人ももらっている」との抗議があった。寝袋は足の出るのがほしいそうだ。足・頭がすっぽり被るのは、風呂に入らない分だけ臭いがこもるとのこと。歩きずくめなので靴は月三足は必要。足が広がるので大きめがいい。W会長の相談コーナーでは、アルバイトが見つかって也容易にはアパートに入れないことの相談。週3日時給600円では生活できない。若者が週5日働いても月12万円程度。厳しい状況は続く。本校からのボランティア同好会は本日4人。前日から定期考査中であったので、参加はえらい。



おむすびづくりに入りまーす。



この毛布はいいですよ。



さあ、いらっしやいマーし。



今日活躍した皆さんです。

(参加感想から)

「最初の方は何をすればよいのか分からず戸惑いましたが積極的に質問したり声かけをすることができました。今回を通してこんな自分でも少しは誰かの役に立つことができるのかなと思いました。反省点はたくさんありますが、一番は学校にいるときと同じ明るさでボランティアに参加してしまったことです。もう少し落ち着いた行動をするべきだったと思いました。」(2年)

「私にとって初めてのボランティアでした。最初はどのように接したらいいのかなどいろいろ考えていました。けどもすぐに皆さんとうちとけることができました。すごくいろいろなことを学びました。次回も参加したいです。」(2年)

「最初はとても緊張しました。でも豚汁作ったり、おにぎり作ったり、おかずを作ったりと、とても楽しかったです。ホームレスの方々とのおふれあいでも個性や特徴などが見えて、最初思っていたイメージとは違って、とても私的にプラスになった体験でした。もっともっと人のためになることをしてゆきたいと改めて思いました。」(2年)

今回の参加生徒達は、とても賑やかで明るく活動的なので、準備中からあちこちで大きな笑いがおこっていた。

献品

高校と小学校の保護者の方から食品・衣類をたくさんいただきました。ありがとうございます。

夜回り

12月8日(水) 20:15~21:25 Tbさんという正平協のベテランのご婦人と同行。

国際センター裏1人、表1人。表の方は3年も前からいたとのこと。

西公園旧図書館。Oさんから教えてもらって、おじいさんを捜しに公園奥の大きな木の下にゆくと、確かに石のベンチで毛布にくるまっていた。「こんばんは」と起こすと、中からヒゲもじゃのおじいさんの顔が出てきた。おむすび類をさし上げながら炊き出しの案内もしてみると、「行かない」と言う。それがニコニコした顔から出てくる言葉だけに、頑固だった。人間関係で何かあったにちがいない。

Oさんからの帰りに、置き忘れたゆで卵とカイロを渡しに公園のトイレわきに車を横付けして、木の下のおじいさんのところへ走った。ベンチに起き上がってまだ何か食べている姿が街灯でぼんやりと見えた。「おじいさん」と声をかけた途端、声がうわずってしまい、涙があふれそうになった。自分でもなぜだか説明はつかない。おじいさんがその木の下でそうやって寄りかかって生きてることに、涙が吹き出した。かなしいのと切ないのとで、走り寄ってゆで卵を渡しながら黙った。

Tbさんが言う。「Hさんの話ですけどね。炊き出しに並ぶのは、自殺ではなく、生きるのを選んだ人たち。炊き出しに並ぶことについて、ホームレスになっても人間ならあんなことしない、とまでいう人もいる。生きることに人はどこまでもプライドがついてくる。ホームレスの原因で一番多いのは多重債務。次に人間関係。ところがホームレスになってまで人間関係。彼らのことばでエサ取りも縄張りあり。」

この通信を発行できたことに感謝します。ボランティア同好会顧問 高橋 覚

炊きだし 1月8(土)晴れ 9:00 ~元寺小路教会(準備) 12:00 ~五橋公園(炊きだし)

炊きだし参加者54名(女性1)。心配していた天気よし。寒さは寒いが雪雨なし。時折お日様がのぞく。感謝。W 会長風邪熱でお休み。その他いつもの主要スタッフ不在。本校からのボランティア同好会は本日9人。まだ冬休み中ではあったが、意識を持って参加し、皆おとなしい生徒たちだが、めいっぱい働いた。



皆さんに配る下着・歯ブラシなどのセット用品です。

おむすびづくりには簡単ではありませんでした。

「とても寒くて大変でしたが、ホームレスの方に少しでも温まってもらおうと思い一生懸命準備に取り組みました。私は調理を担当しましたが、手際よく野菜を切ることができなかったのもう少し家で料理をする時間を増やしたいと思います。とても充実した一日でした。次回に向けて、包丁の使い方の練習をする。」(1年)



さあ、いらっしゃいませ。

どこでおやすみですか？何で来ましたか？
カードにお名前を書いてください。

「寒いときに参加するのは初めてで大変だと思ったが、仕事をやりホームレスの人と話してとても暖かくなった。」

他の人にもこの思いを伝えていきたい。参加できればいい経験ができると思うし、元気をもらえる。また参加していきたいです。(2年)

「よかったことは自分たちの手で作った食べ物を、おいしいと言ってホームレスの方々が食べてくださったことで、それは本当によかったです。反省点は、衣類コーナーで、自分から声をかけてしっかり話を聞くことができなかったことです。」(1年)



おとめのパワーで勝負します。

こんなに頑張りました。ああ、心地よい疲れえ…。

「靴を管理していて、ホームレスの方が紙を書いているときに、知らないうちのその靴を他の方にと取られてしまっていて、怒られたので、次回参加するときはそのようなことがないようにしたい!! たくさんのことを勉強した一日でした。次回の参加の時は、笑顔で炊き出しを心がけたいです。」(2年)

献品

高校と小学校の保護者の方から食品・衣類をたくさんいただきました。ありがとうございます。

夜回り

1月5日(水)20:20~21:10 夜回り準備にいたW会長に、本校のボランティア同好会からの炊き出し献金です、と1万円渡した。嬉しそうに受け取ってくださった。このお金は同好会が先月末に「ハイチ救援」を訴えての街

頭募金で寄せられた4万円弱の中から、毎月お世話になっている炊き出しボランティアへ回したものだ。残金の3万円弱は学校のクリスマス献金と合わせて7万円にしてカリタスジャパンを通じてハイチの学校再建資金に充てるために送金された。活動が少しでも喜ばれ形として残ること感謝したいと思います。

先月同様今月の夜回りもTさんと同行。

国際センター裏1人。今月は表不在。裏の方へ9年間訪問しているけれどまだ名前も顔も知らない、とはTさんの言。西公園旧図書館わきの公園広場。公園奥の大木下の石ベンチのおじいさん(Stさん)は毛布の上にビニールシートをかぶせてくるまっていた。「こんばんは」と声をかけると、起き上がってにっこり。食べ物以外は何を聞いてもいらないと、あいかわらず頑固だった。年末の大雨の日、思いだしては気がかりだった。このおじいさんはめったなことでは石ベンチから動かない。でもいつぞや近くを通ったとき寄ってみたいならなかった。昼間は移動している。ちょっとホツとした。

領 収 書	
[不明]高校 ボランティア同好会 様	
金額 金 10,000 円	
炊き出しへの献金として、大事につかわさせていただきます。ありがとうございます。	
2011年 1月 5日	
	カトリック正義と平和仙台協議会 炊き出し会計 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12 カトリック 教会内 TEL・FAX (夜) 022-[不明]

一番はボランティア同好会の生徒の親の皆さん。そしてまた、理解を示して応援して下さいるたくさんの方達。この通信を今回も発行できたことに心から感謝します。

ボランティア同好会顧問 高橋 覚

ご無沙汰いたしておりました。

2月はボランティアのスタッフも顧問もごっそり修学旅行の期間でありました。

3月の炊き出しは、3月12日(土)の実施予定でしたから、震災の翌日で炊き出しそのものが吹っ飛びました。

しかし、教会では震災の翌日から毎夕食の炊き出しが行われたということです。

私たちボランティアの入る炊き出しは4月になりましたが、まだ余震続きのところから、当然のことながらお家の方が心配されて、生徒の参加予定も取りやめになりました。したがって、4月の炊き出しの様子からお知らせします。

炊きだし 4月9日(土) スタッフの人員と公園までの輸送手段が不足ということで北仙台教会のホールを借りてそこで食事会と衣類提供をしました。お出でになったのは42名ほどでした。特に長机に並べた衣類は大変でしたが、皆さんに協力してもらい混乱なく進めることができました。

5月14日(土) この日も北仙台教会での炊き出しとなりました。ただ天気がよかったので、衣類は外の通路に並べて提供することができました。

この日から高校生ボランティアが入りました。学校5人、S 学園5人の計10人でした。協力して働きました。

本校は進路で忙しくなる3年生を先陣させました。3年生たちは1年次から炊き出しに参加してきたのも多いので、報告書ではボランティア活動の3年間のふり返りをするように伝えました。



ふり返り1

三年間ボランティア活動をおこなってきて本当によかったと思うし、勉強になることがたくさんありました。

炊き出しボランティアに参加することを通して、自分の住む家があること、食べる物があること、不自由なく暮らしていることが、この世では当たり前ではないことを目の当たりにしました。

最初はどういうふうに接したらいいのか不安だったし少し怖い印象がありました。けれど、ホームレスの方とお話をしていくうちに、優しい方だったり親切な方だったりなど、いろんな面を発見してゆくことができました。わたしの途中で勝手な想像をしていたことに本当に失礼なことをしてしまったと思います。

炊き出しで、ひとつの楽しみであったのが温かくておいしい豚汁とおにぎりです。これはみんなで協力して作るからこそ、おいしく感じるのではないかと思います。

これからもボランティア活動を継続してゆきたいです。また、一番の願いは、ホームレスの方々が一人数も減って普通の生活を送ってほしいことです。



ふり返り2

はじめてホームレスの方々への炊き出しに参加したときは、わたしなりに衝撃を受けました。男の人ばかりだと思っていたら女の人も数人いてショックでした。炊き出しボランティア以外にも募金に参加してきましたが、どれも楽しみながらしてこれたのでよかったです。ボランティアから多くのことを学びました。人々の関わりが大切だなとボランティアをする度に思います。

ふり返り3

今回は北仙台教会での準備・炊き出しでした。前回参加したときよりも女性の方が増えて、全体的には人数が減っていましたが、見たことない新しい方がたくさん来ていました。震災の影響もあるのかなあと思いました。この炊き出しボランティアを通じて多くのことを学べたし、たくさんの人と関われたと思います。第一にボランティアは「してあげる」という考えから、「させてもらっている」という考えに変わったことです。2年生のはじめて参加したときは、ただひたすらやってたけれど、今じゃ慣れてきてホームレスの人たちと会話しながらできるようになりました。



ふり返り4

今回の炊き出しには、一人の女性の方が、石巻から震災の影響で路上生活しているとのことで、とても心が痛みました。

三年間の活動をふり返ると、募金活動については、私は街頭募金というのは初めての経験でしたので、知らない人たちに呼びかけなんてできるのかと、正直不安に思いました。ですが、友だちに助けをもらいながら、呼びかけをすることにより、まず自分自身が自信を持って取り組むことができたし、そして、私たちが募金をすることで、直接は関わらないかもしれないけれど一人でも多くの命が救えたらよいと思うし、募金に対する考えが変わった

と思う。

炊き出しボランティアは、ホームレスの人にどう接したらよいか全然分からなかったのですが、別に深く考えなくても、普通に笑顔で接するようにしました。衣類提供しながら笑顔で接しているとホームレスの方も話しかけてくれたり笑顔を見せてくれます。そして、今までの自分の生活がどれだけ幸せであるか、改めて思わされました。ボランティア同好会に入って、今まで経験してこなかったことが経験できて、とてもよかったです。

献品

3月の夜回りの際に預かった献金1万5千円をWさんに届けました。茨城に住むこの高校卒業生の方からは今までも度々お預かりしています。感謝に堪えません。また3月に1年生のボランティア生徒の保護者から正平教スタッフへお菓子のお礼が届いていたとのこと、びっくりしました。お心ありがとうございます。高校の保護者からも衣類をたくさんいただきました。また本校の校長の友人の皆さんから米と衣類をごっそりお預かりしました。同好会の活動に心をかけて下さっている。すべてすべて、うれしいかぎりです。

夜回り

3月9日(水)20時~21時半 夕方小雪が舞った。Ahさんという本校の卒業生と同行した。「Hy先生は? BMは? お元気ですか。」を繰り返した。「担任は誰でしたか?」「・・先生とその後・・先生でした。」「そりゃあ最強じゃないですか。」

国際センターに二人。大橋の下、ゴミの山に一人いるよとHさんから言われ捜しに行った。「Kさん?」「Tさん?」Hさんから教わったうろ覚えのお名前を呼びながら、あちこちビニールのかかったゴミの山の中を捜し回った。寝ているかも知れないからビニールの上からつついてくれ、といわれていたがあまり気持ちいいものでない。返事がないのでおむすびを置いて帰ろうとしたら、奥の柱の下あたりがモソモソ動いて「ハイ」ときた。Ahさんと私が「Kさんですか?」「Tさんですか?」と聞くと、「Kuです」と答えて大笑い。それで挨拶は済んだ。西公園のOさん元気。大木下石ベンチの歯っ欠けおじいさんせつない。

4月2日(土)11半。石ベンチに寄る。マイペースの話しされ、お変わりなし。

4月6日(水)20時半~21時半 被災後の街のホームレスの話。いつもより衣食に潤っている。大橋下のKuさんも石ベンチのおじいさんも訪ねるといつもと変わらなかった。Oさんは「地震の時はちょうどわたしのティータイムでね。いやあ参った。」こっちも参った。

5月11日(水) 大橋下Kuさん。「炊き出し来ませんか?—アパートの相談はHさんとしましたか?」「ここをもうちょっと整理してからね。」目の前には広大なゴミの山。西公園石ベンチ。人のよさそうな笑顔のおじいさん。カップ麺や味噌スープとおむすびにゆで卵を置いてきた。人が、ここで生きている。たぶん、人の生活から離れてしまった人が。でも、生きている人に変わりはない。…近くで若い男達が5~6人遊んでいる。立ち去る時に気になった。応援服を着ている。N高の応援団かもしれない。あと3日で定期戦と聞いた。それでも夜回りの帰りまた車を止めて様子を眺めてから帰った。

一番はボランティア同好会の生徒の親の皆さん。そしてまた、理解を示して応援して下さいたくさんの方達。この通信を今回も発行できたことに心から感謝します。

ボランティア同好会 顧問 高橋 覚

炊き出しボランティア通信

vol49

2011,6月

炊きだし 6月11日(土)小雨のち晴

12:00 ~ 五橋公園

予報がはずれて朝からずっと雨でした。Wさんは公園にテントを張ってそこで衣類提供もするつもりでいました。我々もその覚悟で、いざ張り終わったところで青空が見えてきました。「おめでとうございます」とWさん。

公園に集まった方は54人(女性2人)でした。被災で石巻から流れてきてのホームレスの方もあり。本校からなんと12人もの3年生のボランティアが参加しました。進路で忙しくなる3年生を先へ持ってきた結果、正平協にこのようなご迷惑をお掛けすることに…。初めての参加も数人いますが、複数回の参加経験の生徒たちが多いので、要領は知っていました。

私をはじめ炊き出しに参加したときは何をしていたかわからず接し方も分かりませんでした。ですが回数を重ねてゆくうちに皆さんとの会話が生まれたり楽しみが増えてゆきました。この活動で得たものはきっと将来役に立つと思うので大事にしてゆきたいです。

今回で三回目の炊き出しボランティアでした。1回目から比べると少しは動けるようになり手伝いも上手くできました。こういう活動はとても大切なことだと思いました。機会があればまた参加したいです。

今回で2回目の炊き出しだったので仕事がスムーズにできました。みんなで分担して、私はおにぎりを作ったり、野菜を切ったり楽しくできました。ホームレスの一人の人にでもありがとうと言われとても嬉しかったです。雨がやんで、よい炊き出しでした。卒業までにぜひもう一度やりたいです。

炊き出しに出るたびに思ったことは、ホームレスの皆いい服を着ている人が多いなということでした。顔なじみになる人も結構いて、見かけると元気でよかったです。また自分的には今こうしてぜいたくできるのが凄くありがたいことなんだと改めて感じることができました。物を粗末にしないようにしようと心から思いました。

献品 今月は小学校の保護者から韓国海苔が大量に入った驚くほど大きなダンボールや衣類と献金をたくさん預かりました。ありがとうございます。

夜回り 6月8日(水)20:15~21:30

Ahさんと一緒。国際センター二人。大橋を渡ってその下に住むKuさんへ向かう。。石の階段は最近の雨で草丈高。通れずに迂回する。Ahさんは車で待機。「Kuさーん」とライトを照らしながら5回ほど呼ぶ。反応なし。おむすび置いて帰ろうか、と思ったときに、一番奥のコンクリの柱の手前で黒い塊がむっくりと起きあがって「ハイ」と言った。話をしながら手製の具入り味噌スープを作る。ここに住んで1年ちょっとであること。今の季節川からの虫がハンパでないこと。「いつもすみませんねえ。なにか献品したいのですがねえ。」目の前の大量のゴミの山をゆび指し、「これ全部Kuさんの?」「ハイ」「へー……」

西公園石のベンチのおじいさんはめずらしく起き上がって座っていた。「ここは夜でも人が多いでしょ?誰かにやられたり、からかわれたりはしない?」「からかわれる」「暴力は?」「それはない」陸橋下のOさん。こんばんは、とビニールの奥へ声をかけると、「まだ生きてました」と言いながらのっそり現れた。話しぶりも元気。いつぞや市の保護課のさしがねで実の姉がいきなり現れさんざん説教されたときにはすっかりしょげかえていたが…。お別れのあいさつも、「それじゃ来月までまたお元気でいて下さい」と言うと、「どうなっていることやら」と言う。Ahさん「Oさんはあそこにどのくらいなんですか?」「12~13年でしょう」

ボランティア参加希望や献品がありましたらよろしく願います。

炊き出しボランティア通信 vol 50

2011,7月

炊きだし 7月9日(土)晴 12:00 ~ 五橋公園

あつい一日でした。公園に集まった方は51人(女性4人)でした。被災で石巻から流れてきてのホームレスの方もあり。ボランティア参加の生徒は今回から新入生が登場しました。ことばがたない分だけまた、一生懸命でした。



○初めての炊き出しボランティアがすごく暑くて大変だったけど、ホームレスの人たちが喜んでくれたよかったです。反省会でWさんから、宮城県はホームレスの人に対してすごくいい対応をしているということを知りました。次回は公園に苦手な鳩がいても騒がないようにします。そしてもっと笑顔でいたいです。

○分からないことだらけで、ボランティアのおばさんたちにたくさん迷惑をかけてしまいました。でも、ホームレスの人達がとても喜んでいたのでよかったです。



○初めてでいろいろ分からないところもありましたが、Wさんたちがやさしく教えてくれて助かりました。とてもいい勉強になりました。次回も頑張りたいです。



○準備から始まり、時間をかけて料理を作ったりして、とても体力のいる仕事ばかりで大変でしたが、やりがいがありました。また今回はスタッフの人数も少なくて大変でしたが、最後までやりきることができたので良かったです。次回は今回よりもすばやく行動したいです。



夜回り 7月6日(水) 8:30~10:00 曇り

この日も夜回り道具に懐中電灯が入っていない。国際センター向かいに駐車してから気づいた。教会を出発するときを確認しなかったことを後悔した。真っ暗な中を所々歩くことになった。今夜は(幸い?)1人である。国際センターの裏手ベンチは建物から漏れた明かりで何とか足下が見えた。表ベンチまではやや厳しかった。そこにいるおじさんも後でまわるKuさんも味噌スープをつくって差し上げると、皆真っ暗な中でも真っ黒と分かる手でニコニコしながら受け取るのが分かる。季節がら臭いなあと思いながらも、暗くて見えないことよりも、臭くて黒い手よりも、こちらの心がなんだか温かくなった。大橋下のKuさんはご自分の宝の山(ゴミ山)の真ん中でパンパンと手を打っていた。「Kuさん」と呼ぶと、黒い影が一瞬ピクンと跳ね上がった。それにつられてこちらも一緒にのけぞった。おむすび・ゆで卵・カップ麺・蚊取り線香をわたしながらの会話。「きょうはいちだんと蚊がすごくてねえ」そうでしょうねえ。「先生のとこのおむすびが一番おいしいです。」(いつの間にか先生呼ばわりされ、しかもおせじま

で言われた。Kuさんなりに精一杯の儀礼かな)この荷物の山は全部Kuさんが?「ハイ。撤去しろと(市の係員がきて)うるさく言われます。」業者に売るんですか?「ハイ。タバコ代ぐらいにはなります。」

西公園の石ベンチおじいさんはおやすみ中だったが、すぐに起きた。—おじいさんのお名前なんでしたっけ?「HSです。」恥ずかしそうに小声で答えた。どこでも聞いたことのある名前なので、思わずふきだしそうになった。確かこのおじいさんは、先月はSkとっていた。—この大木だと雨の時あまり濡れないですか?「いえ、ずぶ濡れです。」またふきだしそうになった。

陸橋下のOさんは、近くの寮生が夜中に『わが家』へ大きい石を投げつけていった。あいつら慌てて逃げてゆくとき一人財布を落としていった。3万円入っていた。交番に届けた。Oさんその話をしようと待っていたにちがいない。立て続けに3回ほど繰り返した。…困った。

献品 中高からお米をたくさん預かりました。ありがとうございました。

萌友の炊きだし 7月16日(土)晴 12:00 ~ 五橋公園

NPO法人『萌友』の炊き出しに、7月9日には模擬テストのために参加できなかった3年生の希望者と、参加しました。萌友と正平協は姉妹関係にあります。萌友の炊き出しは衣類提供がなく、もともと福祉プラザで食事提供を行っていたものです。3.11の影響でプラザは年内使えないとのこと。五橋公園に10時集合、その場で調理して食事を提供します。その現場に生徒も初めてゆきましたが、Hさんがあっちこっちと指示し手を動かし、なかなかせわしないものでした。しかし活気がありました。



○ 参加した3年生の振り返り ○

① 3年間の活動を通して高校生活で誇れるものが一つできた。最初の炊き出しではホームレスの人やお手伝いの方とコミュニケーションがとれず、ただ手を動かすだけになってしまった。だが現場を見て衝撃を受け考えが変わった。街中で見ていたホームレスの人を見ると抵抗感を覚えて近寄れなかったが、実際に会ってみるとやさしくて元気な人が多かったこと、その後何度か炊き出しに

行っているうちに顔も覚えてもらえ最初の頃より会話が弾み、「ありがとう」「また来てくれたんだね」と声をかけてもらえるようになり、本当にやってよかったと感じたこと。抵抗感をもっていた自分がとても恥ずかしくなり、また自分自身がきちんと3食食べて服も買えるなど裕福な生活を送っていたことにあらためて気づかされ生活を見直したこと等。

募金活動でも声を枯らして思いを伝えれば、幅広い年代の方に届き、多く支援してもらえることが分かった。最初私たちの世代の人たちはあまり入れてくれないだろうと思っていたが、その逆で周りのことも気にせず一人で入れてくれた人もいた。私たちの世代は周りを気にしてなかなか募金しないが、今の世相のために人の心が変わったのかなと思う。

炊き出しや募金活動、なかなか経験できないことなので、本当に所属してよかった。今こういう状況で苦しいときだが復興のために頑張ろうとしている。

誰かのために涙に立ちたいという思いは強くなったし、忘れないようにしたい。一生懸命働けば元気がもらえ笑顔が増えることが分かったので、そのことを教えてくれたまた関わった人々に感謝している。

② 今まで3年間ボランティアをしてきましたが、最初にしたホームレスの方々への炊き出しが一番印象に残っています。最初、私はホームレスの方に偏見がありました。そして初めてのことで、何をしたらよいのかが分からなく、戸惑うことが多かったのですが、他のボランティアの方々やホームレスの方々と接していくうちに、だんだんと仕事をできるようになったと思います。

炊き出しをして思ったことは、皆で作業をして協力をして作ったものを、ホームレスの方に配る時の嬉しさや、達成感です。一つのものを作り上げる喜びを学ぶことができたと思います。そして、自分から仕事を聞いて積極的に仕事をしなければいけないことは、これから社会に出る上で大切なことだと実感しました。

昨年の夏に仙台でおこなわれた障害者共働大会のボランティアでは、手伝いの人にも幅広い年代の方がいて、とてもいい出会いと発見がありました。私は来賓の方を案内する仕事でしたが、お連れした後に「ありがとう」という一言がとても嬉しくなりました。参加者にも障害をもっている人はたくさんいて、接することの難しさや、これからどう接してゆけばよいのかを学ぶことができました。

東日本大震災の募金は、被災地としてまだ傷が癒えていない中での活動だったと思います。街の人一人一人がこの大震災について考えている、そんな思いがとても伝わりました。小さい子どもからお年寄りまで色々な思いがある中、一円でも五円でも募金をしていただいて人の温かさを知りました。「頑張ってるね」そう言われることが多かった募金活動でした。そして募金活動をしている私たちも、いち早く復興してほしいという思いをこめて活動をしていました。この震災の悲惨さとこれからかかる大きな復興作業を改めて実感し、心が痛くなりました。

これからまだまだ大変ですが、今何ができるのかということボランティア同好会を通して学ぶこと、考えることができたと思います。



～3年生のふり返りに寄せて～

昨年度あたりから大人数を抱えた同好会になっています。顧問は他の部顧問を兼部しています。現在60数名の同好会員の部長も副部長も他の部や外での活動をやはり兼ねて行っています。活動は日常的に活発で忙しいわけではなくて、今年であれば①路上生活者自立支援炊き出しボランティアと②東日本大震災復興支援ボランティアを二本柱にして活動を展開しています。もともとは顧問の高橋が、自分のやりたいことに人を巻き込む癖から始まっております。毎月1回の炊き出しに大人数で行っては指導くださる大人の方達に負担をかけるのと他校の生徒も参加しに来ることもあることから5～8人のグループで当番制にして参加させています。ですから多くとも年に2～3回です。

3年間続けた3年生の振り返りに、心が拾われた思いであり、炊き出しに連れて行ってよかったのだと、成長する生徒の心に感謝するばかりです。参加する機会を一人でも多くの生徒にもってもらいたいために、同好会が存在するのかなと思っております。

（顧問 高橋 覚）

ボランティア参加希望や献品がありましたらよろしくお願いします。